

黒石市長

高 樋 憲 様

令和7年度

黒石市に対する要望事項

黒石商工会議所

# 令和7年度黒石市に対する要望

## 【最重点要望事項】

### 1. 黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）

黒石市制度融資は当該保証料を一定額、市が負担し中小企業者の資金繰りや経費負担の軽減に寄与しております。

小口資金特別保証制度の保証料給付は例年年度後半には保証料給付が受けられない中小企業者が出るなどニーズの高い制度であるため、今後早い段階で予算に達する可能性があります。

新たに連携を開始した青森県融資制度の「事業活動応援資金（事業活動枠）」については、保証料の補助に際し、青森県と黒石市それぞれの予算状況に応じて保証料補給の有無が左右されるものとなっており、小口資金特別保証制度に比べて利用しづらい制度となっております。

制度自体の融資承諾枠が予算に達していない場合でも、保証料の給付については例年比較的早く予算に達しており、市が保証料を全額補助する小口資金特別保証制度の保証料補給枠がないことで融資の申込を躊躇するお客様が多く見られることから、今後1件でも多くの中小企業者が保証料給付を受けられるよう融資予算限度額の保証料給付を要望します。

## 【重点要望事項】

### ◆ 「福祉」

### 1. 黒石市防災体制の拡充と黒石市防災マップの見直しについて（新規）

近年、激甚化する災害が頻発しており、令和4年8月には当市においても甚大な豪雨被害を受けました。災害から命を守るためには、市民一人一人の災害に対する心構えや知識と備えが重要です。現在、国や青森県が公表した岩木川水系浅瀬石川、十川が千年以上に一回の降雨により氾濫した場合に想定される最大規模の浸水想定区域図、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、地震の危険度、火山噴火影響範囲及び指定避難所などの情報を総合的に示してある「黒石市防災マップ」が黒石市内全世帯に配布されており、いざというときに参考・活用できる状態にあります。数年前に毎戸配布されて以来配布はされておらず、変更箇所は黒石市のホームページで閲覧できるのみとなっております。

国では災害対策基本法が令和3年に改正され、「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」を改定・公表し、指定福祉避難所の指定を促進するとともに、事前に受入対象者を調整して、人的物的体制の整備を図ることで、災害時の直接の避難等を促進し、要配慮者の支援を強化するとしました。一般の避難所で長期間生活を続けることが難しい高齢者や障害のある方が二次的に避難できる福祉避難所を指定し、安全に避難生活を送れるように配慮されるとしており、福祉避難所の開設には「施設の安全性の確認」や「福祉関係職員・生活相談員などの人材確保」「電気や水などの確保」などの準備が必要となります。

つきましては、市の防災活動が円滑に行われるよう、高齢者や障害のある方、妊産婦や乳幼児が安全に避難できる福祉避難所の有効活用に向けた事前総合訓練と、非常時に混乱を招かないために福祉避難所を記載した「黒石市防災マップ」作成と再度の毎戸配布を要望します。

## ◆「商工業振興」

### 2. 黒石市の経済対策について（継続・一部変更）

- ① 令和6年度に行われた「物価対策くろいし応援商品券発行事業」においては、事業者・消費者の双方によい事業であったと思われます。そこで全国の自治体の経済対策事業を参考にしながら、より少ない経費（キャッシュレス化への対応等）で市内の事業者還元する事業を要望します。
- ② 黒石市の入札制度における結果について、市内事業者の落札割合及び落札価格の公表を要望します。

### 3. 人材不足問題解消に向けた支援金制度の創設について（新規）

黒石市では、近年、地方における人口減少の進行により、あらゆる業種において後継者不足や人材不足が深刻化し、大きな課題となっています。その要因の一つとして都会との所得格差による若者等の都市部への流出が挙げられます。

しかし、都市部へ進学・就職をしたが、生まれ育った故郷に戻って暮らしたい、地元に貢献したいなど、Uターン就職を考えている若者も少なくありません。Uターン希望を後押しすることで、地域活性化の起爆剤ともなり得る若者が戻り、好循環が生まれると考えられます。

弘前市では、弘前市出身者の弘前市への移住・定住を促進することで、中小企業等における人手不足の解消及び生産年齢人口の増加に資することを目的に、令和4年度から県外から弘前市へUターンし就業等をした方に支援金を交付する事業を展開しています。令和4年度は単身1件・世帯3件、令和5年度は単身10件・世帯5件と着実に移住者が増え、人手不足の解消に繋がっている状況にあります。

つきましては人材不足問題への対策として、Uターン就業者への支援金制度の創設を講じていただくよう要望します。

### 4. マイナンバーカードの利便性をより高める自治体サービスについて（継続・一部変更）

現在、マイナンバーカードは、マイナポイント事業等によって普及促進が図られ、徐々に交付数が増加しており、市民は様々なサービスを受けられます。黒石市ではコンビニで住民票や印鑑証明を取得するサービスが開始され、自宅付近のコンビニでサービスを受けられる、自治体の営業時間外でもサービスを受けられるようになりました。

しかしコンビニで使用する機械はディスプレイ形式で高齢者にとってはわかりづらく、コンビニで取得せず市役所で交付を受ける方が多い現状です。

そこで高齢者が気兼ねなく簡単に書類を取得できるように、10月オープンする市民サービス施設でコンビニと同じ機械を設置し、操作方法の指導を行うなどマイナンバーカードの利便性をより高めるサービスの整備を要望します。

## ◆「都市環境」

### 5. 主要地方道大鰐・浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）

大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を經由して青森市と結ぶ重要路線である。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっている。

この交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを引き続き要望します。

### 6. 廃校の空き施設を活用したドッグラン事業への貸出について（新規）

近年ペットを大切な家族として考える人が増えていることから、愛犬との生活をより豊かにするため、ドッグランの利用が人気となっています。

ドッグランは、単に愛犬家が自分のペットを運動させるだけの場ではなく、公共空間としてお互いに基本的マナーを学ぶことで、安心して過ごせる空間となります。ドッグラン設置と併せて、飼い主のマナー教室や犬のしつけ方教室などを開催することにより、飼い主のマナーがより一層向上します。飼い主のマナーが向上することにより、犬のフンの放置がなくなるなど、施設内に限らず道路等においても清潔で快適な環境形成が期待されます。また、人と犬が互いに気持ちよく利用できるレクリエーション空間をつくることにより、住民間コミュニティが犬を通じて形成されることが期待されます。

また、官民一体となって新しい活用に向けた空間づくりを進めている自治体もあり、むつ市では代官山公園、十和田市では道の駅とわだ等で、ドッグランが整備され多くの人で賑わっています。

つきましては、賑わいと楽しさのある空間づくりを実現し、まちのにぎわいに繋げるため、廃校の空き施設を活用し、ドッグラン事業への貸し出しを要望します。

## ◆「観光振興」

### 7. 観光分野におけるデジタル化の推進について（新規）

近年、1回のクイックスキャンで様々な情報にアクセスできる「QRコード」は強力なツールとなっており、人々が見知らぬ場所を移動する方法に革命をもたらし、手軽に観光情報を仕入れる手段として観光業界に大きな影響を与えております。観光振興を効率化するため、旅行者と観光施設の両方に利便性をもたらされると考えます。

現在、黒石市の観光パンフレット等にはQRコードが掲載されています。しかし、観光パンフレットを携帯せずに観光施設を訪れる方もいらっしゃいます。せっかくお越し頂いたのに、観光案内がないまま帰られてしまっは、期待した結果にならない可能性もあります。このQRコードを活用できれば、自由に観光ガイドを受けられ、急激な円安を背景に増加しているインバウンド客にも対応できると考えられます。

つきましては、観光施設や黒石市内の店舗前の看板や出入口等にQRコードを掲載し、施設紹介などのシステムづくりを要望します。

## 8. 行政と市内観光事業者・食品製造業者等との情報共有の場への職員派遣について (新規)

近年、当地域では様々なジャンルのイベント開催が活発化しています。客層は市内外に限らず、急激な円安を背景にインバウンド客も増え、交流人口の拡大が図られています。

しかし、行政・実行委員会組織で主管するイベントの出店募集やビジネスチャンスに繋がる情報が多岐に渡り、募集期間も短いため、事業者は情報選別や意思決定のタイミングが図りづらく情報が不十分なまま事業が終了している状況が多く見受けられます。

つきましては、市内観光事業者・食品製造業者等市内事業者がビジネスチャンスを逃さず利益拡大を図れるように、行政等と密な打ち合わせができる定期的な情報共有の場を設けたいと思いますので、その際には市の担当者を派遣いただくよう要望します。

以上、令和7年度黒石市に対する要望事項として要望いたします。

令和6年11月11日

黒石商工会議所

会 頭 新 岡 常 雄